

平成11年3月4日

宇宙開発事業団
宇宙環境利用システム本部
宇宙環境利用推進部
寺門邦次様

福山邦楽器製造業協同組合
理事長 小川賢三
副理事長 牧本卓雄

拝啓、早春の候となり、益々ご清栄のことと存じます。

日頃は、宇宙開発にご尽力され、皆様方のご努力に感謝いたしております。

この度は、宇宙ステーションに搭乗される飛行士の候補者として、3人のお方が選ばれましたことを、お喜び申し上げます。

そのメンバーのお一人の角野直子さんが「宇宙でダンスをしたり、お琴を弾いてみたい」とのお気持ちがあること聞き及びました。

当地は、全国生産70%を有する琴の生産地であり、各種の大きさの琴を持ち合わせており、その中の小さいお琴を角野さんに差し上げて、楽しんでもらいたいと思っております。

この度は、貴団の東久雄氏（福山市出身）を介して、知人の市場久雄氏（福山市在住）から、貴殿にその由を申し入れていただきましたところ、その由を角野さんにお伝えいただけることをお聞きし喜んでおります。

つきましては、ここにお琴をお送りしますので、角野さんにお渡しくださいますようお願い致します。

また、角野さんのすばらしい夢を是非とも実現させていただく為に、何か協力できることがありましたらお申しつけ下さい。組合として対応していきたいと思っております。

おわりに、皆様方のご活躍で、宇宙飛行が無事その目的を達成されますことをお祈り致します。

敬具

宇宙環境利用推進部

寺門 邦次 様

拝啓 宇宙開発事業団の皆様 日本国民の

期待の中で、ますますご活躍の由、

心から お慶び申し上げます。

このたびは日本人で二人目の女性飛行士
を含め三名の宇宙飛行士の誕生

おめでとうございます。

さて、テレビ等の報道で角野直子さん

が、宇宙で琴を弾くのが夢、と話され

たのを観て、私達の町 福山市が

日本一の琴の生産量であることを

同級生の東久雄君と電話で話し、

ぜひ彼女の夢を、実現させてあげたい

と、お願いいたしました。

NO 1

素晴らしたい

当地では、琴を作る職人さんが

仕事の合間に本物そっくりのミニチュア琴
を作っています。実際に演奏出来

ます。飛行に持参可能かは、わか
りませんがプレゼントします。

宇宙で日本の伝統的な楽器、琴が
「さくら さくら」等、演奏されるは
最高でしょう。

日本の文化を宇宙で流して下さい。

琴の生産地 福山の市民の願いです。

ミニチュア琴ですが、角野飛行士に
渡すことが出来ます。よろしく
お願いします。

素晴ふし

日本一の福山琴の歴史

福山琴の歴史は、元和五年(一六二九)水野勝成(徳川家康のいとこ)が福山に城を築いたころに始まると言われています。江戸時代の城下町では、武士や町人の子女の芸事が盛んであり、備後十万石の城下町福山でも水野・松平・阿部と続いた歴代藩主の奨励もあって歌謡、音曲が盛んに行われました。

江戸の終り、文化年間には京都で箏曲を伝授された、琴の名手 葛原勾当が帰郷して備後・備中で活躍しました。その影響もあり福山を中心として、早くから琴が生産される土壌が出来たと言われています。

また、「春の海」で有名な箏曲家、宮城道雄の父 菅国治郎は福山・柄の浦の人で、先祖代々の墓は柄の南禅坊と円福寺にあります。

そうしたことから「春の海」の舞台は宮城道雄が少年の頃よく訪れた、柄の浦であると言われるようになりました。

全国生産量の七〇%を占め、楽器として初めて伝統的工芸品に指定された福山琴は、瀬戸の丁度真ん中に位置する、風光明媚な城下町、福山で生まれます。



葛原勾当(1813-1882)



宮城道雄(1894-1956)

参考のため、サイズは約 $60\text{cm} \times 13.5\text{cm} \times 8\text{cm}$

重さは約 600g です。

〒720-0062 福山市伏見町 1-2

市場 久雄

TEL 0904-653-5505

FAX 0849-24-8622